

きぼうのいえ ニュースレター



2014年 春号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ

〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525

E-Mail：kibounoie777@mbm.nifty.com

ホームページ：http://www.kibounoie.info

共感する者として生きる

施設長 山本 雅基

ギリシャ語に「スプラクニゾマイ」という言葉があります。新共同訳聖書のいくつかのたとえ話の中で「深く憐れんで」と訳されている語は、この「スプラクニゾマイ」という言葉から派生しています。

他者の苦しみ、痛みに対する、内臓がかき回され、引きちぎられるような痛み。胸が締め付けられて、苦しくなるような思い。命を生み出し生かすために、自分の子宮が激しく痛むような思い。そんな思いを言い表した言葉が、「スプラクニゾマイ」という言葉です。

しかし、私たちの日本語には、これを的確に表す適当な言葉が見当たりません。新共同訳聖書が訳しているように「深く憐れむ」というような、憐れみの程度を深くしただけの表現でしか、それを表すことが出来ません。

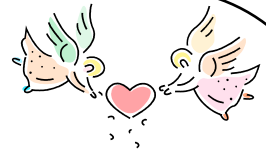
さて、その上で私たちは、はらわたをかき回されるような痛みを持って他者の痛み、悲しみを受けとめ担おうとするイエスの思いを、どのようにして抱くことが出来るようになるのでしょうか。そのような感覚を表す適切な言葉さえ持たない私たちが、どのようにしてその感覚を自分のものとする事が出来るのでしょうか。

「憐れむ」という動詞は、前述したように、ギリシャ語で「スプラクニゾマイ」と言います。「スプラクニ」とは、「内臓」のことです。古代人は人間の感情や心の座は内臓にある、と考えていました。そして、ふと立ち止まって考えてみれば、日本語にも同様の表現があります。私たち日本人も、「胸が痛む」とか「肝が据わっている」などと、内臓によって感情や気持ち、心を表現しているのです。

英語にも類似した表現があります。それは「アンダースタンディング」です。「アンダー（下）に」「スタンディング（立つ）」しながら、スプラクニ（はらわた）がニゾマイする（痛む）のでなければ他者の苦しみを理解することが出来ない。それこそ、私たちターミナルケアに携わる者が失ってはならない視点だと思います。



『ハーモニー』から素敵な助っ人



きぼうのいえから歩いて10分ほどのところにある『ヘルパーステーション ハーモニー』は、「きぼうのいえのあり方を訪問した先で実践してくれて、その理念を山谷全体に広げてくれるような団体が欲しいね」ということでつくられた、きぼうのいえとは双子みたいな関係の団体です。このハーモニーから今、素敵な笑顔の女性Wさんがきぼうのいえに出向してくださっています。

「本当に、きぼうのいえっておもしろいところですねえ！」と、Wさん。「入居者さんもおもしろいばかりですが、スタッフやボランティアの方々も、み～んなおもしろい！」と、きぼうのいえを大絶賛です。

「そうそう、このあいだはこんなこともありました。入居者のYさんとKさんと一緒に隅田公園の桜祭りに行った時のことなんですけど、突然Kさんが『これで、おいしいものでも食べな！』と、私の手に3,000円を押し付けてくるんです。丁寧に断りをしましたが、そのお気持ちはとっても嬉しかったです。入居者の皆さん、決してお金がありあまっているというわけではないのに…」

月に数度、ボランティアでハーブ演奏に来てくださるサック・キャロルさんとお仲間の皆さんの演奏には、心から感動したそうです。キャロルさんたちが奏でるのは、死に移行する方々の緩和ケアに役立つパストラル・ハーブです。「ハーブの音色は私にとって、本当に印象深いものでした。寝たきりで口も利くことができないMさんが、まるで一緒に歌おうとしているかのように、『う～、あ～』と時おり声をお上げになっているのを聴いて、胸を打たれました。」

敬虔な信者さんでもあるWさんのお気に入りのものは、きぼうのいえの玄関にもあるようです。

「ここの玄関には、アッシジの聖フランシスコの『平和を求める祈り』が書かれた大きな木の板が掲げてありますね。この祈りの文句が、私、昔から大好きなんです！」

皆様のご寄付で!

エアコン買いました!

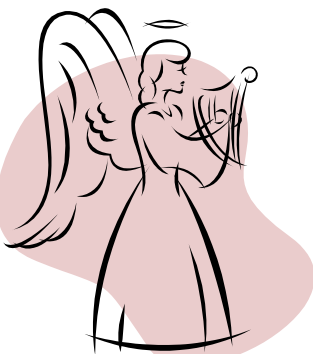
遂に!

長い、長い間、とっても不評でした。「なにが？」って、きぼうのいえのエアコンが、です。冬はちっともあつたらまらない。夏は暑くて暑くてたまらない。耐用年数的にも限界に来ていたんです、きつとー。

「病気を抱えている人たちの部屋が、こんなことでいいのか!？」「夏の談話室は、サウナみたいよ!」スタッフからも、文句の声がたくさん上がってはいました。ただ、なんといっても台所事情が…。

しかし! ついに、きぼうのいえのほぼ全室のエアコンが新しくなったんです。多くの方々からのご寄付のおかげです。本当に、本当にありがとうございます。

新しいエアコン設置で、部屋が快適な温度になっただけではありません。安い窓用エアコンから最新のコンパクトなエアコンに変わったことで、窓から光がたくさん入って来て、お部屋がぐっと明るくなりました。





缶バッチ・チーム始動♪



「ねえ、きぼうのいえの名前が入ったグッズ作るのって、楽しくない!？」と、突然、盛り上がったスタッフ数名。そこで誕生しました。「きぼうのいえ・缶バッチチーム」です。さっそくネットで検索してみると、ありました! 世の中には、缶バッチをつくる道具がちゃんと売っているんですね。太っ腹のスタッフRちゃんが自腹を切って、すぐに発注。

数日後、届いた道具を囲んで、みんなでワイワイガヤガヤ。「やっぱり猫のバッチよね?」ということで、デザイン担当は、きぼうのいえの美術の巨匠・ミセスSに決定。そして出来上がって来た猫たちは、写真の通り。どの子も一筋縄ではいかなさそうな表情(?)で、スタッフ間では大好評です。

仕事が終わったあとで細々と家内手工業的に作っているの、なかなか大量生産にまでは行き着けませんが、寄付をしてくださった方々に、いつかお渡し出来る日が来たらいいなあ…というのが、バッチ・チーム・メンバーたちの願いです。



皆さん、どの子がお好きですか?

のぞみプロジェクト

スタッフやボランティアさん、みんなで力を合わせて入居者の夢を叶えよう—きぼうのいえには、そんなプロジェクトがあります。

ひろしのコンサートにに行ってきました!



女性入居者Yさんは、五木ひろしの大ファン。今年は五木さんのデビュー50周年ということで、武道館で大コンサートが開かれることに。そこで、スタッフたちは計画を立てました。「Yさんを武道館コンサートに連れて行こう!」付き添いは、スタッフNとボランティアのSさんに決定。おしゃれをしたYさんをタクシーで武道館までエスコートし、「ひろし~♥」という叫び声を3人で上げて、ひろしを応援。コンサート後はまたタクシーで、きぼうのいえへ。Yさんのチケット代や当日のタクシー代などのために、募金活動が始まりました。普段お世話になっている看護師さんやヘルパーさんも、気持ち良く募金してくださいました。

当日、出発前のお昼ごはんは興奮のため、ほとんど食べられなかったYさん。コンサートのあとは、「もういつ死んでも悔いはない」とまで。(いえいえ。まだいっぱい楽しいことしましょうねえ~、Yさん)

ところでYさん、そうは言いつつ冷静な面も。「ひろしのどこが好きなの?」という質問には、「ひろしの声が好きっ! 顔はどうでもいいのっ。顔だったら、ウチのダンナのほうが、ず~っといい男だったもん!」「あとは、三味線、ギター、ピアノ、琴、なんでも出来ることも、好きだねえ~!」さすが元芸人のYさん、見てるところがちがいます。



スタッフお手製のひろし応援グッズ。団扇それぞれの裏側は、「ひ」「ろ」「し」。表と裏で「ひろし好き♥」。



きぼうのいえの夜の物語り

スタッフ W生



私はきぼうのいえで、夜勤専門で勤めております。

入居者の皆さんは夜の10時頃になると、だいたいお休みになられるようですが、時と場合によっては、やはりなかなか寝つけない夜もあるようです。若い頃は女優やディスクジョッキーといった華やかなお仕事もされておられたというKさんとは、同郷のよしみで、時々近くの喫茶店に車椅子にお乗せしてコーヒーを飲みに行ったりする仲でありましたが、このKさんが心細くなるのか、夜になると時々シクシク、ベッドの上で泣かれるようになりました。

ある夜、消灯のために部屋に入った私にKさんが、「ねえ、寂しいから、何かお話しして…」と、泣きそうな顔で言うのです。

私は(さて、何を話せば良いか…)と、しばらく考えた末に、昔話の『桃太郎』を話し始めました。Kさんはしばらく目をつむって黙って話を聞いておりましたが、ちょうどお爺さんがナタを振り上げて桃を割ったあたりで、「…もういいわ!」と、あきれたように口をはさまれました。

—どうやら私は、Kさんのその夜の心のニーズとは、かけ離れた話をしてしまったようであります…。

でも、それから懲りずに時々Kさんが寝られない夜に「お話し」をするようにいたしました。何度目かのある夜、私も好きな『泣いた赤鬼』のお話をした時は、「…良いお話ね」と、微笑みながらしんみり言ってくださいました。



Illustration by ryun

■きぼうのいえでは、私どもの活動にご賛同頂ける皆様方に、ご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は、①郵便振替 ②銀行振込 ③インターネット募金 の3つがあります。



2014年度も、きぼうのいえの運営へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

① 郵便振替の場合

郵便振替番号:

00190-6-388670

名義:きぼうのいえ後援会

② 銀行振込の場合 (※1)

みずほ銀行 三ノ輪支店 普通

口座番号:1284037

名義:特定非営利活動法人きぼうのいえ

③ インターネット募金

ホームページからアクセスして、カード決済することもできます。

<http://www.kibounoie.info/index.html>

- ※1: 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。
- 正会員希望の方は、お手数ですが事務局までご一報下さい。